



水上 雅廣 議員

広葉樹のまちづくりについて

①小規模森林整備の促進②広葉樹のまちづくり推進に向けたビジョン

**答 弁** ①自伐林家を含む小規模林業事業体の育成は重要と考えるが、まず他地域の事例など調査研究することから始める。②公民連携のもと、他地域との連携を深め、相互の強みを生かし弱みを補い合える関係性を構築し、国産材広葉樹市場に柔軟に対応できる体制づくりを目指す。

市有財産の整理について

①市有財産の利活用と整理②香愛ローズガーデンの有効活用③西忍スポーツ公園等の再整備

**答 弁** ①すべての施設を(1)維持管理継続307施設(2)再改編検討対象施設10施設、(3)民間等譲渡検討施設5施設(4)普通財産へ移行検討施設9施設に整理した。今後具体的な検討を進める。②地域住

民による有効活用を前提に、様々な取り組みを重ねながら、施設の在り方を関係機関と協議する。③ナチュラルみやがわは、グランピング施設等の誘致や、障がいのある方にも優しいアウトドア体験機会の創出など、更に特色を出す方向で検討。宮川スポーツ公園は、スケートボードパーク、サイクリングロードのウォーキングコース利用など実証実験を検討する。

基礎的條件の厳しい集落への支援について

**答 弁** 市職員と連携して、集落の巡回や状況把握を実施したり、地域活動の中心になれる、「集落支援員」の配置について具体的に検討する。

海洋ごみ対策について

海洋ごみ対策として河川環境美化活動の推進を  
**答 弁** 市として海洋ごみへの意識や環境全般への意識の醸成を図る取り組みを進めるために、宮川下流漁協の河川美化活動と連携する。当該区域を重点モデル区域とする事業を県へ提案。  
YouTube ▶



井端 浩二 議員

飛騨市防災士会について

①事務局をどのようにしていくのか。消防署や消防団、関係団体と連携が必要になるがどのようにしていくのか。②関係団体や教員、介護職員等との研修会や女性部会の設立はできないか。③各地区に一人くらいの防災士が必要ではないか。④運営資金が必要になるがどうしていくのか。⑤各地区等での避難所の設営運営や防災計画が必要になるが市の考えは。⑥防災士を地区の防災相談員として役員にしてもらえないか。

**答 弁** ①防災士会は市役所をはじめとする関係団体との緊密な連携が不可欠であり、今年度より防災士会事務局を危機管理課から防災士会に移管した。危機管理課と緊密な連携をとっている。②

教職員や介護施設職員、関係団体との連携を進めつつ、現在、防災普及部、防災企画部の設立を検討されている。同時に女性部会や中学高校生による青年部会といった意見も出ており支援していく。③防災士の活動は自治会や行政区等の自主防災組織における活動が主体となり、2～3人の防災士が活動できる態勢が理想と考えている。④防災士の育成促進や自主防災活動、防災士会活動などに必要な予算の確保していきたい。⑤平成30年に行政区等の地区防災計画の作成を依頼するとともに、飛騨市避難所運営マニュアルを作成し各行政区等へ配布と市公式HPへの掲載を行った。今後も区長会等を通じて、防災計画の見直しをしていきたい。⑥自治会、行政区等の役員あるいは相談員として防災士が参画し、活動することは極めて理想的であり支援していきたい。

YouTube ▶





◀ 会議録はこちらから

## 一般質問



小笠原 美保子 議員

### 農業振興について

高齢化や離農が進む中、歯止めをかけるための取り組みは。①肥料価格高騰支援について。②農業支援のモデル地区の成果と今後の取り組みについて。③家庭菜園の推進について④今後の農業の方向性について。

**答 弁** ①国の「肥料コスト増加額」の算定式を使用し二分の一以内を支援する。販売農家という要件は設けていない。②サルの被害は地域ぐるみの追い払い等により集落にサルが近寄らなくなった。今後同様に被害の多い地域に情報提供していく。将来的な農地利用に関しては市内集落の農地利用計画策定に向け検討を進める。③市では法改正を踏まえながら農地利用の検討を進める。④新規就農者支援や中高年就農支援、区画拡大による農地の集積・集約に伴う農業経営の効率化、スマ

ート農業の推進・鳥獣害対策による農業者の負担軽減を図る等、今後も様々な施策を推進していく。

### デジタル教科書について

①タブレット活用の現状および効果について②児童生徒の健康への影響について③いじめの助長や依存について

**答 弁** ①市内すべての児童生徒が自分専用の端末を使用できるよう整えられた。「個別最適な学び」の実現で可能性を広げていく。②授業等で連続使用に留意したりタブレットから目を離す時間を作ったり等配慮している。健康面への配慮事項について最新情報を学校と家庭で共有していく。③ネット社会のルールやマナー、責任、危険を回避する行動や相手の立場に立って考えることの大切さ等学んでいる。中学校では生徒会が中心になりタブレットの活用を考える取り組みを行っている学校もある。

YouTube ▶



徳島 純次 議員

### 内部統制制度について

①昨年6月1日での制度の評価は、概ね妥当である。としているが、運用2年経過の評価と今後の課題は。②リスク顕在化した時は、他部局で同様なミスが発生しないよう情報共有と注意喚起をどのように周知するのか、確実にリスク顕在化の未然防止に利活用されているのか。③業務システムの自動化の適用範囲と今後の取り組みはどの様に考えているか。④内部統制の評価の公表の方針は。

**答 弁** ①令和2年8月に導入・運用を開始し、約2年が経過したところです。現在のところ、制度運用上の問題点は特にないと捉えている。本市の内部統制は法に基づくものでなく、市独自の仕組みと位置付けている。今後継続していく中で見直しを重ね、磨き上げ、本市の規模や組織に適したより良い仕組みを確立していく必要がある。②リスク事案の概要、原因、対応、再発防止策を市

長に報告すると共に部長会議に於いて報告し情報共有、部長より所属職員、庁内イントラネットにより全職員に周知する。③業務のRPAへの転換やシステム化、効率化及び職員の負担軽減からも業務の外部委託についても積極的に進めていく。④当面は令和2年度同様のスケジュール感で公表していく。

### 働き方改革の実現に向けた取り組みについて

①中間点の取り組みの評価と今後の課題は。②何人の職員がテレワーク業務を行っているか、それによる効果と今後の課題は何かあるか。

**答 弁** ①議会等のペーパーレス化、業務へのAI-OCRの導入、会議録作成システムの導入により作業時間の短縮、職員の負荷軽減の一定の効果を上げている。職員の更なるICTの知識技能習得のための長期的な取り組みが必要で、全庁的に情報リテラシーの底上げが課題である②テレワークの8月利用者は160人。テレワークは勤怠管理が難しく、基幹系システムへの利用が出来ない課題がある。 YouTube ▶





前川 文博 議員

令和5年新年度予算について

都竹市政2期8年目、最終年の予算編成。①アフターコロナ。飛騨市の元気を取り戻すためにどのような考えで予算編成を行うのか。②河合のYuMeハウスは指定管理者が撤退する。全ての公共施設の在り方、方向性の考えは。③火災跡地の活用と医師住宅及び看護師住宅は。

**答 弁** ①予算のテーマは「持続可能な飛騨市づくり」。ゼロカーボンシティへの挑戦。国際平和への貢献。未活用の市有施設等の取り壊し、売却を進める。②地域の事情に配慮がある。すぐに休止や廃止でなく、普通財産にして貸付をしたり、売却先を探すこともある。③病院から近い火災跡地は有力な候補地。研修医住宅のように一定年数借り上げる方式が有力候補。現状は資材の高騰、品

薄などがありすぐに整備できない。喫緊の課題であり早期に結論を出したい。

小中学校の特別教室エアコン設置について

①これまで「費用の問題や室温の調査、普通教室の利用で設置は考えていない」との答弁が続いたが、方向性が変わった理由は。②山之村小中学校でも熱中症に近い症状になった児童生徒があり、急遽スポットクーラーが導入されたが、エアコン設置の考えは。

**答 弁** ①中学校の学校運営協議会から初めてエアコン設置の要望。さらに要望者として生徒会長の名前も。生徒から切実な声があったのは初めて。総合政策審議会でも複数の意見があり、特別教室のエアコン設置を決めた。②1階のランチルームと、2階のラーニングルームへの設置を考えている。

YouTube ▶



葛谷 寛徳 議員

飛騨ソーシャルビジネス創出の支援制度の内容と現状は

飛騨市の地域課題解決に取り組む事業種に対しふるさと納税の枠組みを活用して、支援を行う制度を新設。事業を実施する皆さん自らが寄付を集め、集めた寄付をその活動に対する交付金として交付するのですが、(株)ネコリパブリックと(株)Edoが事業認定された。市民が誤解されている部分もあるので、改めて制度や内容について伺う。

**答 弁** 飛騨市の社会課題解決に役立つビジネスをエントリーして審査をしてもらう。年間5,000万円の交付を受けようとする、1億円の寄付を集めなければならない。(株)ネコリパブリックは苦勞されていて、予想外の1億6,180万円を集められた。寄付が集まらなかったらリスクは自分が負う。現在60匹を超える猫の保護や預かりをしており、施設がいっぱいになりつつある。保護猫

シェルターは、近所の子どもたちも猫に会いに来てくれるなど、見学もできコミュニティの場にもなっている。

船津火災跡地の活用について

看護部長から里山ナース事業での、看護師教育と人材確保対策の取り組みについて、大きな成果を上げていると報告。魅力ある生活をしてもらうためにも、看護師住宅の整備が必要だが、火災跡地をどのように活用されるか伺う。

**答 弁** 看護師住宅は、屋根材の劣化など老朽化が進んでおり、PFI方式を含め火災跡地は有力な候補地である。従来職種別住宅の区分をなくし利用率を高める必要がある。建築資材も高騰しており、今後着手時期を検討していく。火災跡地に残る家屋の撤去については、今後の利活用事業の中で一体的に実施したいが、時間がかかる場合は、先行して撤去を検討したい。

YouTube ▶





◀ 会議録はこちらから

一般質問



谷口 敬信 議員

### 環境整備について

①農業集落地域の市道の除草について。②市街地近郊の市道の除草について。③一級河川宮川の堤防除草について。④環境省指定特定外来生物の駆除について

**答 弁** ①市道は550kmにおよび、地元からは高所で危険が伴う箇所など地元区での対応が困難な場所の除草・伐採等の要望がある。市で対応が必要となる箇所については柔軟に対応する。②古川大橋街路樹撤去工事は変更契約工期を11月25日(当初8月26日)までとし、早期完成に努める③堤防除草の回数(1回⇒2回)については管理者の岐阜県古川土木事務所に対して検討及び協議する。④当面、県立自然公園(天生・奥飛騨数河流葉)へ接続する道路沿線を重点地域として、限られた

財源の中で、業務委託(シルバー人材センター)により、防除を効果的に進める方針である。

### デジタル田園都市国家構想推進交付金の活用について

①ビックプライド(市民の誇り)の醸成について。

**答 弁** ①市民1人1人が自分のまちに誇りを持って暮らせる環境を醸成することが非常に重要な取り組みあると考えて市政を進めている。来年度に向けた自治体DXの考え方についてもご提案をいただいた、住民との合意形成・Steam教育・移住定住も踏まえながらデジタル化の推進を取り組んでいきたい。現在、自治体DXに詳しい企業の方等から様々な可能性について話を伺って勉強している。職員を近々先進地に派遣して勉強してもらうように指示をしているところで、できるところから順番に取り組んでいきたい。

YouTube ▶



住田 清美 議員

### 教育の環境整備について

①不登校児童生徒の学ぶ機会の提供②支援の必要な子どもたちへの指導③小中学校特別教室のエアコン整備

**答 弁** ①年間30日以上欠席者数は、昨年小中で37名。今年度7月では昨年同期と同数である。教育相談室「グリーンルーム」を古川・神岡に開設し、本人の意思を大切にしてお過ごし方を決めている。学校では教育相談員3名、スタデイサポーターを4名配置し、学びの機会の確保に努めている。②特別支援学級は小中で13学級、48名が在籍している。また、普通学級在籍児でも週1回程度トレーニングを行う通級指導教室もある。学校心理士の助言を踏まえ指導に役立てている。③令和5年夏までに各学校の特別教室2教室分を整備し、

令和7年度までに整備完了としたい。

### リサイクル意識の向上について

①ごみ出し支援アプリの活用②処理施設の見学③ごみ袋記名④第3次環境基本計画の進捗

**答 弁** ①まずは区長会でダウンロードをお願いし、HPや回覧にてQRコードを表示するなど啓発に努めたい。②小学4年生には環境教育として衛生関連施設の見学を行っているが継続したい。一般の方については、エコサポーターや保健衛生推進員をはじめ、市内や県外のリサイクル関連施設の視察を検討したい。③プラ袋、紙袋への記名は合併前から行っている。現状でも不適切な排出は一定量あり、当面、記名をお願いしたい。④第2次計画の振り返りから見えてきた課題と、現在の社会情勢を踏まえたものを基本方針とし、環境審議会にはかるなどし、年度末には公表したい。

YouTube ▶





上ヶ吹 豊孝 議員

山之村地区の観光利活用について

山之村地域資源を活かすため景観の保全を行い、「景観村づくり」を進め、観光に資する事業がもっと発展出来ないか。①深洞湿原の利活用について②天蓋山登山ルート開拓について③冬の山之村観光事業について④山之村新規事業について⑤山之村牧場のキャンプ場新設

**答 弁** ①コロナ禍でアウトドア需要が高まる中、天蓋山、キャンプ場、山之村牧場、そして深洞湿原などポテンシャルが高い地域だが、まずは資源の現状と今後の活用策を検討する。②山之村牧場を登山口とした、「新登山道の整備」について現在、「山之村キャンプ場」及び「山之村牧場」と一体的な利用促進を目的に検討を進めている。③冬場の需要獲得に向け、オールシーズンの魅力と合わせ情報発信する。④「子ども農山村漁村プロジェクト」の活用は、最終

的に地域ビジネスとして定着することが重要である。⑤牧場内でのキャンプ場新設は、牧場経営者や利用者のニーズを踏まえ検討する。

学校教員の勤務状態と課題

教員の勤務状況が苛酷になっている。原因として、デジタル化による新業務が背景ではないか。①ICT導入により教員の負担状況は②市内教職員の時間外労働は③部活の地域移行について

**答 弁** ①教職員のICT研修を定期的実施しスキルアップに努めている。ICT支援員を2名増員し3名体制でサポートしている。②管理職が時間外業務の内容を確認し、特に時間が多い教職員は、業務改善に向け、関係職員との連携を図り、翌月の勤務に生かしている。③部活地域移行の最も重要な目的は、将来にわたり子供たちがスポーツや芸術・文化に継続して親しむ機会を確保する事。令和8年度を目途に学校部活から地域活動へ完全移行する。

YouTube ▶



高原 邦子 議員

魅力あるまちづくりは課題解決型まちづくり、コレクティブインパクトで

過疎地域対策措置法の目的条項の変遷では50年前と地域振興の目的が、社会資本の整備から地域課題解決へと変化している。市民と語る中で、空き家の利活用・景観整備・子どもや高齢者の移動手段の確保・外部人材の移住支援など、より住民に密着したまちづくりを進めることを望んでいる。住み続けていくには「課題解決型のまちづくり」が必要であり、ごく一部の人が取り組みすればよいものではなく、あらゆる分野の人々が課題解決に向けて心も行動も一つにしていく事が真の解決であると思った。

①市長のまちづくりの方法・手法はどのようなものなのか。②コレクティブインパクトやシステ

ム思考を活用した課題解決型まちづくりをどのように考えるか。

**答 弁** ①②複数の異なるセクターがある社会課題を解決するために協働してインパクトを創出するコレクティブインパクトを得心している。飛騨市は人口減少先進地であり、課題先進地でもあり、毎日よくぞこれだけというほど課題があり、どうやって解決するかが市政そのものである。最近では市政運営の中で行政だけで解決するには限界があり、市内の企業・団体・関係人口の方々と協働・連携することが重要であり、その中で政策の効果(インパクト)を最大化していくという意味ではこれぞコレクティブインパクトだと思っている。それぞれのプレイヤー(複数の異なるセクター)の強みを発見し、持ち寄り、組み合わせる相互に補完する関係を作る「強みの持ち寄り体制」を作るのを大事にし、具体例では飛騨市学園構想・ヒダスケ・広葉樹のまちづくり。それらを俯瞰的に見て調整する役割を市が入って行っている。 YouTube ▶





◀ 会議録はこちらから

一般質問



籠山 恵美子 議員

「国葬」について、市に原則的な対応を求める

安倍元首相の「国葬」は、憲法14条「法の下での平等」、19条「思想及び内心の自由」に違反する。市長、教育長には弔意行為は憲法の原則に沿った対応を求める。

**答 弁** 国葬儀の実施は政府が決定すること。よって政府からの正式な通知がない以上、市の対応を申し上げる状況にない。

デジタル田園都市国家構想をどう活用するか

デジタルインフラの整備に対し、①市が抱える当面の社会課題は何か。②防災のためのドローン活用が最も急がれるのでは。

**答 弁** ①人口減少による人手不足が一番の課題。問題解決のため、地に足のついたデジタル構想を進める。②ドローン活用の災害協定を締結し出動実績をあげている。防災態勢の一層の強化を図っ

ていく。

早急に国道360号線の交通安全対策を

宮川町種倉打保バイパスの成手～塩屋間が開通した。地元住民の利便性が向上する反面、高速走行の車両も増加し、生活環境の安全面が脅かされている。市は関係機関と連携し、早急に事故防止対策を。

**答 弁** 今回の開通を迎えるにあたり、地元区などから県に対し安全の要望が出されている。今後はさらに交通量増加が想定されるので、ご意見をしっかり受け止め地元と一体となって県へ要望していく。

ペット火葬場の整備を求める

飛騨市民がペットの火葬をお願いしている高山市が、新火葬場の土地物件で難航している。飛騨市は独自に火葬炉を整備すべきである。

**答 弁** 光明苑の建て替え時に議論になったが、整備に至らなかった。民間が火葬事業を計画しているので推移を見守りたい。

YouTube ▶



野村 勝憲 議員

ふるさと納税での猫の店開店

民間の開店に都竹市長と澤議長がテープカットは前代未聞。議員と市民の意見交換会4会場と一般市民から、猫に公金5,000万円とは！これも市長の専決か！議会は何をしている！等怒りの声①東京の会社にふるさと納税を使う理由は②猫の店にふるさと納税2.5億円の使い道は③飛騨市での猫事業の見通しは④犬にもふるさと納税で支援をしたら！

**答 弁** ①条例に従い(株)ネコリパブリックに交付②猫の店開業の家屋取得・改修費と5年間の運営費に③飛騨市の猫の店は8店で資本金は600万円。市は今後も支援④支援事業の対象となる。

飛騨市の南・西玄関口の活性化について

①南玄関口に1.3億円で飛騨市直産市そやなが開店。売り場面積は狭く、地元野菜等が約3割。まるで全国のおみやげ店の声と年間440万円市

支給のトマト店長の処遇は②道の駅アルプ飛騨古川の土地は市、そやなの拡張等もっと議論を③西玄関口の朝開町旧地場産市場跡地にふるさと飛騨館を建設し、1階は観光協会と物販店、2階に4町の魅力発信コーナーを設け観光誘客を図る。

**答 弁** ①多くの野菜が並べられる陳列棚を二段にする等柔軟に対応。市から店長への支給は令和6年6月まで。以後は指定管理者で②市は方針は決めない③民間活力を活用し、早い時期に跡地利用を検討。

4町に新たな健康ウォーキングコースを！

健康・歴史探訪をキーワードに、北飛騨の森と町並みを楽しむ新しいコースを提案①神岡山之村にペットと歩くコース②古川祭り会館から堀田森の大イチョウを経て道の駅までの町中コース③河合小鷹利城コース④宮川種蔵コース新設を。

**答 弁** 山之村はペットと歩くも含めイベント型ウォーキング事業を継続し、提案の古川・河合・宮川コースは3町の特徴を活かしたクアオルト独自コースとして健康ウォーキングガイド協会と検討。 YouTube ▶

